

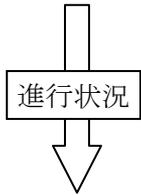
## 各務原市における公共用サービスロボット開発 に向けた協働について

岐阜工業高等専門学校奥川研究室を始め、各務原市内の早稲田大学 WABOT-HOUSE 研究所、(株)ブイアールテクノセンターの 3 団体では、家庭内外のサービスを目的としたホームロボットの实用化を目指したプロジェクトを進めており、次のステップとして、かかみがはら航空宇宙科学博物館を始めとする公共施設での実証実験を行う予定である。

今般、本市及び各務原商工会議所が岐阜工業高等専門学校との連携協定を締結することによって、「かかみがはら航空宇宙科学博物館」を実証フィールドに展開される上記協働プロジェクトに拍車がかかるとともに、市内企業のロボット製作技術の向上など、ロボットテクノロジーを取り巻く活動がさらに活性化するよう取り組んでいく。

本プロジェクトは、プロジェクト創出研究会「サービスロボットの实用化に関する研究会」のもと、具体的には、以下の段階を踏んで、活動している。

段階	概要	岐阜高専	市	商工会議所
1	WABOT-HOUSE 研究所内「案内サービス」ロボットの開発を行う	○		
2	「公共サービス」を提供するロボットとして、科学・博物館ガイドロボットを提案し、設計開発を行う	○	○	
3	かかみがはら航空宇宙科学博物館を始めとする、公共施設での実証実験を行う	○	○	
4	各務原市内企業と連携し、製品化を目指した試作品を製作する	○	○	○
5	得られた要素技術をベースにロボット開発に関するビジネスモデルを検討し、産業化を目指す	○	○	○



各務原市では、ロボットクラスターの形成を進めるテクノプラザを擁し、本年 9 月には「ロボットビジネスフォーラム in テクノプラザ」を開催するなど、テクノプラザ発のロボットビジネスの創出を目指している。

